

令和 8 年度東京都公立学校におけるデジタル採点ツールの共同調達 に関する落札者決定基準

1 審査実施機関

技術点の審査及び評価については、令和 8 年度東京都公立学校におけるデジタル採点ツールの共同調達に係る技術審査委員会（以下、「技術審査委員会」という。）において実施する。

2 落札者決定基準

（1）落札者の決定方法

落札者の決定は、下記の要件ア及びイに該当する入札参加資格を有する者のうち、技術点と価格点の合計である「総合評価点」が最も高い者とする。

入札参加資格を有する者のうち下記の要件ア及びイに該当しない者は、総合評価点の採点を行わず、落札者とししない。

ア 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

イ 技術点の評価で無効となっていないこと。

以下のいずれかの場合に該当するとき、技術点の評価を無効とする。

（ア）必須とする項目を満たしていない場合

（イ）総得点が「0 点」の場合

（ウ）技術点の評価するために提出必須とされた資料が未提出の場合

（エ）技術点の評価するために提出された資料及び様式の内容に虚偽及び捏造が確認された場合

（2）技術点及び価格点の得点配分及び評価基準等

300 点満点とする。得点配分は、技術点を 200 点、価格点を 100 点とする。

技術点の評価項目、評価基準及び配点は、別添 3「令和 8 年度東京都公立学校におけるデジタル採点ツールの共同調達 審査項目・審査基準」（以下、「評価表」という。）にて定める。

（3）総合評価点が高い者が 2 人以上あるとき

総合評価点が高い者が 2 人以上あるときは、入札書に記載のくじ番号に基づき、くじにより落札者を定めるものとする。なお、入札書にくじ番号の記載がない場合又は記載内容が不明な場合等は、入札書記載金額の上 3 桁をくじ番号とする。

くじ引きの方法は、次のとおりとする。

- ア 同額の入札者のくじ番号の数値を合計する。
- イ 合計した数値を同額の入札者の数で除算する。
- ウ 同額の入札者に判定番号(注)を付与する。
- エ 除算した余りの数値と同じ数値の判定番号を付与された入札者を落札者とする。

(注)判定番号

同額の入札者の判定番号は、希望表の提出が早い順に付与する。

3 技術点及び価格点の評価方法

(1) 技術点の評価は、原則として技術提案書等の提出物及びヒアリングにより行う。

評価基準は評価表のとおりとする。

(2) 技術点の評価は、技術審査委員会各委員の採点を合計し、委員数で割ったものとする。算定結果をもとに、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

(3) 提案内容に係る評価は、以下のとおりとする。

- ア 必須とする項目のすべてを満たしている提案書について、任意とする項目において評価し点数を付与する。
- イ 任意とする項目のそれぞれについて、技術審査委員会の各委員が以下の6段階で評価する。

段階	基礎点 評価基準	評価点 (15点満点項目)	評価点 (20点満点項目)	評価点 (30点満点項目)
①	提案なし又は評価できる提案と なっていない	0	0	0
②	提案としては不十分	3	4	6
③	普通の提案	6	8	12
④	やや優れている提案	9	12	18
⑤	優れている提案	12	16	24
⑥	特に優れている提案	15	20	30

(4) 価格点は、その入札価格に応じ、点数化する。点数化の方法は、次に示す方法による。

「価格点＝(1－入札価格／予定基準価格)×100 点」

算定結果をもとに、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。ただし、入札価格が予定価格の制限を超えている場合は点数化しない。

い。

4 事故及び不誠実な行為

基準日（※）の3年前の日から起算して3年の間に、東京都競争入札参加有資格者指名停止等措置要綱（平成18年4月1日付17財経総第1543号）に基づく指名停止を受けている場合に当該案件における技術点の満点の10%（20点）を減点する。

ただし、指名停止中又は指名停止期間終了後に、当該指名停止の措置要件に該当することとなった事実又は行為について責を負わないことが明らかとなった場合は、当該指名停止が上記対象期間内にあったとしても、事故及び不誠実な行為の実績点についての評価は行わないこととする。

※ 各四半期の初日（4月1日、7月1日、10月1日及び1月1日）のうち、発注予定の公表を開始する日の直前のものをいう。ただし、発注予定の公表を開始する日が各四半期の初日の場合は、該当する各四半期の初日とする。